

第1回 那珂川町夢まつり〈夏〉

8月27日那珂川町夢まつり夏・こどもの夢まつり。夢の風が吹く歩行者天国が実行委員会主催で馬頭地区商店街を会場に行われました。

午前9時の開会式から、ゆめっ子によるよさこい踊り、ミュージシャンの演奏、子どもたちには笑顔がこぼれていました。10時からは優勝賞金5万円をかけた商店街縦断三輪車レースが行われ、飛び入り参加のギャオス内藤さんとスポーツ少年団を中心に15チームが出場し、約1.5キロを5人組で競いました。選手は家族や友人の応援を受け全力でペダルを漕ぎ、歩行者天国は夢のレースコースとして大盛り上がり。記念すべき第1回の優勝は小川南小学校ソフトボール部チームとなりました。

11時からは各講師によるスポーツ教室が行われ、教室の前に行われた「夢トーク」では、夢を叶えたプロ選手の話に子どもたちは真剣に耳を傾け「夢を持ち続けることの大切さ」「スポーツの素晴らしさ」に聞き入っていました。とにかく子どもたちに楽しんでもらいたい、夢のある子どもに育ってほしいという主催者の願いは、歩行者天国に吹いた夢の風と共に確実に子どもたちに届いたのではないのでしょうか。この中から将来のプロ選手が誕生する、そんな夢のようなことを期待します。



記念のオブジェ作成中のひとコマ

都市と里山との交流・体験

那珂川町の高校生が当町を訪れ、地元の高橋生と交流しながら里山の自然を学ぶ「都市と里山との交流・体験2011」が8月2日から2泊3日の日程で行われました。緑の交流館に宿泊した生徒たちは寝食を共にし、間伐体験や川遊び、鮎めし作りなどを行いました。また、最終日には、皆で協力し、今回の交流記念作品として町の草木を利用した記念オブジェを作りました。

「震災復興寄席」が開催されました。これは三遊亭歌師匠が九重美術館で落語を披露した縁で「災害を受けた那珂川町などのためになれば」との提案をされ、それを受けて企業や団体など有志による「那珂川町を元気にする会」により行われたものです。第1部と第3部はそれぞれ御前岩物産センター（大山田下郷）とすし常（小川）で食事などが付いた寄席となりました。第2部は小川総合福祉センターあじさいホールで無料で行われ、歌師匠のほかに女性紙切りの林家花さんと柳谷喬の字さんも登場し、会場を大いに沸かせました。この寄席の収益金は東日本大震災の義援金などに寄付されます。

震災復興寄席を開催



「震災復興寄席」が開催されました。



野村弘樹氏



商店街縦断三輪車レース



スポレク3B体操



栃木SC 佐藤悠介ドリムアンバサダー



石川多映子氏

温泉トラフィグキャンペーン

馬頭温泉保護開発協会20周年記念事業として、馬頭温泉旅館の宿泊客に温泉トラフィグを特別料金で提供する馬頭温泉キャンペーンが9月に実施されます。このキャンペーンを観光客に知ってもらおうと、8月28日の駅で温泉トラフィグの刺し身、煮こごり、あら汁など400食分が無料で配られました。道の駅を訪れた家族連れは、「温泉トラフィグを初めて知った」「菌ごたえがあって美味しい」など好評でした。観光協会によるとトラフィグ目当ての観光客も徐々に増えつつあるそうで今後期待が寄せられています。



マイ・チャレンジ

地域の人々のかかわりを主とした社会体験活動を通して、共に生きる心や感謝の心を育み、主体的に自己の在り方や生き方を見つめさせることを目的に馬頭中学校では、「マイ・チャレンジ」活動を実施、中学2年生124名が37事業所で就業体験をしました。8月24日から26日の3日間（1日約6時間）に渡る体験を通して、生徒の皆さんは、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、言葉遣いを習得し、学校では学ぶことのできない貴重な体験に真剣に取り組んでいました。なお、小川中学校では、11月7日から11日の5日間



益子農園



中央保育園



橋本油店



セブンイレブン

小学生が川の自然を満喫



川遊びやキャンプなど自然体験する「ネイチャークラブ・サマーキャンプ」が8月9日から2泊3日の日程で行われました。キャンプには町内の小学生25名が参加し、川遊びや手打ちうどん作り、ナイトハイキングなどを行いました。キャンプでは、武茂川での飛び込みや川流れなどの川遊び、まほろばキャンプ場付近での「がさがさ」（あみを使っての川探検）と、3日間に渡ってたっぷり川を満喫しました。参加した子どもたちは、「川の楽しさや危険を学んだ」「火おこしや飯ごう炊きが大変だった」など貴重な体験をし、充実した夏休みのひと時となったようです。